

鴻島

ニュース

ごみくすり

中央地区自治会長 長瀬 直

新緑のまぶしい季節となりました。会員の皆様におかれましては益々ご健勝の事とお喜び申し上げます。

さて、今年の13回中央地区別荘自治会の総会は、少し肌寒さを感じる連休中の5月2日に開催されました。他の立候補者も無く、またまた会長の再任となりました。他の役員も留任となり、役員ともども力を合わせて一年微力ながら会の運営に努めて参る所存です。会員の皆様のご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

また昨年は、日生町に集中豪雨があり島でも別荘地の中で土砂くずれがあり、一軒の家が大きな被害に合いました。自治会の負担で道路の一部の修理も発生致しました。そのため会計報告書にあるように142万円の出費となり、不足分には繰越金と積立金を充てました。今後益々別荘購入者同士による互助組織としての結束を強めて、皆さんで情報交換しながら楽しい別荘ライフを送りたいと思います。

第13号

— 2004 —

中央地区
自治会
広報委員会

総会報告

第13回鴻島中央地区別荘自治会定時総会が連休中の5月2日に日生小鴻島分校講堂において開催されました。出席者及び委任状を頂いた方々で100名(75%)となり、総会は成立致しました。総会は会計報告が会計担当の森さんより行われました。続いて会計監査役の青野さんより会計監査が了承されました。引き続き事務局の平田さんより鴻島の諸事情についての連絡や説明があり出席者と様々な意見交換等がありました。中でも昨年の別荘地のガケくずれについての被害と修理についての報告が説明さ

れました。その後役員全員の留任が決まり、また今年度予算案が出席者全員の賛成で承認されました。総会の後出席者全員参加となる懇親会が引き続き行われました。酒、ビール、たこつぼの料理などで食事をしながら参加者による意見、情報交換等があらこちらでにぎやかに行われて大変好評でした。また、来年も行う予定です。今回欠席された方も来春の総会にはぜひ出席して下さい。自治会の運営にもお力添えお願い申し上げます。

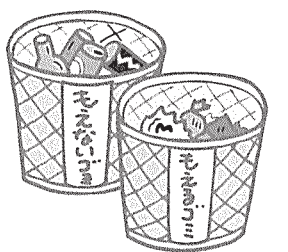
事務局よりお知らせ

鴻島ではゴミの分別収集が行われています。まだ一部の方が、指定通りに行っていない。自治会では、収集業者に補助金を月5万円支払って、指定通りになつていないゴミも回収してもらっています。皆様の廻りの方々にもルールを守るようにお互いに気を配って下さい。念のためゴミのルールを確認しておきます。

ごみの収集日

| ごみの種類 | 収集日 |
|-----------------------|-------------|
| もえるごみ | 毎週火曜日 |
| ペットボトル トレイ 紙類 | 毎月 第4木曜日 |
| ビ もえない 粗大 ゴミ | 毎月 第3木曜日 |

- ・生ゴミ(可燃物)を日生町指定ゴミ袋(10枚450円)に入れて出す
- ・従来の黒かスーパリーの袋ではゴミは持っていけないので使用しないこと
- ・缶・ビン(不燃物)は透明な袋に入れること(スーパリーの袋も可)
- ・ペットボトルはラベル・金属フタ等を取り透明な袋に入れること
- ・以上別々にゴミ袋に入れてください



★会員でない人に 申し上げます。

自治会活動は会員の負担で行われています。別荘地も17年たち道路の補修や清掃除も会費でまかなっています。しかし会員外の人たちは何も負担していません。道路や溝や車の撤去や水道の破損も全て会員たちの負担なのです。折角手に入れた別荘も公共性は高いのです。皆様相応の負担をするのが社会のルールだと思えます。島を利用するにはぜひ、会員になって頂きたいと思うのですが…。

★車両放置は絶対に やめて下さい。

今季は、車両の撤去を致しません。だんだん増えて通行の邪魔になっています。撤去費用は自治会で負担しています。中央地区で約30軒の人が会員ではありません。皆様の隣近所で会員外の人が車の使用をしている時、その後放置がないかよく注視して下さい。放置がわかれば自治会で注意したいと思います。

★火事への予防のお願い

鴻島では過去17年間に6回の火事が起こっています。特に強風が急に吹く事もあり、ゴミや落葉等のたき火は絶対しない様に気を付けて下さい。お互いに注意しましょう。

新聞だより

同好会の案内

現在、左記の同好会が活動しています。
会員の皆さんの親睦目的につくられた会です。上手も下手もありません。楽しい一時を過ごしましょう。
皆さんの参加をお待ちしております。

○土いじりの会

備前焼が隣町なので窯元で教えて頂きながら、童心にかえり泥遊びはいかがでしょう。か。
079413510466 森田迄(会社)

○魚釣りの会

磯釣り、船釣りを楽しみながら、自慢話に花を咲かせてみませんか。
樽家紀之

○ゴルフの会

上級者はもちろん、初心者の方も大歓迎です。年に2〜3回のコンペで練習の成果を競ってみませんか。
061645110578 長瀬迄(会社)

役員名簿(平成16年度)

- (会長) 長瀬 直
- (会計) 森 啓充
- (監査) 寺浦 格 樽家紀之
- 青野正勝
- (事務局) 〇八六九八八二七五六 平田文夫
- (理事)(再任) 桑原高己
- 松井努・藤野孝治・浅島俊男
- 米田稔・泰脩二・山本顕一
- 吉田とし子・森田孝・岩坂春一・西野健一
- (順不同)

会計報告 削除

町政の信頼回復に全力

西岡憲康・日生町長(62)



にしおか・のりやす 県職員を退職後、1975年に県議に初当選し、連続4期。11月30日の町長選で初当選した。京都大卒。寒河。

土地売買をめぐる詐欺、背任事件で起訴された前町長の辞任に伴う出直し町長選で新人同士の一騎打ちを制し、初当選した。まず取り組むべき課題は。

続けている。

異常事態を受けての選挙となった。市町村合併を考えるに任期は少ないが、出馬したのはシヨトリリーフとして、町のために全力投球したいの思いからだ。早急に取り組みのは、町民の町政への信頼回復だ。不祥事を二度と起こさないよう、公平、公正、清潔をモットーに町職員の綱紀粛正に努めたい。

事件の要因の一つに、一課長に権限が集中し、チェック機能が全く働かなかった町役場の機構の問題がある。互いにチェックし合えるような体制を早期に確立したい。

議会内では「町長派」「反町長派」という確執も長年

新首長インタビュー

最近、町内のカキ入りお好み焼きが注目され、雑誌などで「カキおこ」とも呼ばれるほど評判になっている。例えば「カキおこの町・日生」のように、魚介類を主体に食を通じた町づくりに取り組みしていきたい。



▲日生町長選で初当選し、支持者と万歳する西岡氏(中央)

市町村合併は備前市と吉永町の一市二町で法定合併協議会を設立している。日生町では来年、住民投票も行われる。正念場を迎えた合併問題への対応は。

合併は町の領域を広げ、発展していくための手段だ。町そのものが消えてなくなるわけではなく、残すべき伝統や文化は次代に引き継いでいく。県職員時代にも合併を担当しており、その経験を生かしたい。住民には町財政の展望や町の将来を三十年、五十年と長いスパンで考えてもらいたい。日生町の財政は合併せずに単独で生き残る場合は、じり貧になっていくことは明らかだ。しっかりと分かりやすい説明会を行い、住民に理解してもらった上で、住民投票に臨みたい。

議論を十分に尽くしたとは言いがたい。一市四町の研究会に対し、「研究会の内容が新聞でしか分からなかった」「なぜ一市四町の合併話がなくなったのか説明を」などという疑問が、今も住民の間に根強くある。

現在、和気、佐伯、吉永の北部三町と、備前市、日生町の一市一町の研究会が相次いで発足。一市四町の研究会は解散し、新たな枠組みで協議が続いている。北部三町、一市一町の研究会は管内の住民を対象にそれぞれ実施したアンケート結果を公表。「合併すべき

大詰めの市町村合併

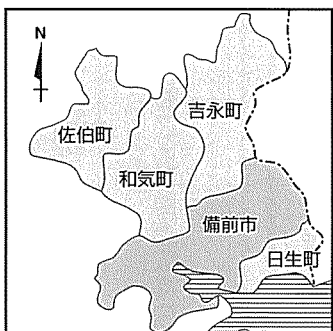
備前市・和気郡地域

二〇〇三年五月下旬に開かれた備前市と和気郡四町(和気、佐伯、吉永、日生)の合併調査研究会の第三回会議をもって一市四町の研究会は空中分解してしまつた。

一市四町の合併に対する温度差は研究会設立当初からあった。県の示した基本パターンも「北部三町」「一市一町」だった。

しかし、一市四町なら人口規模は六万人程度だが、枠組みを分割すると、備前市・日生町で約三万八千人、和気、佐伯、吉永の三町では約二万三千人。三町の組み合わせでは「市」への昇格もない。

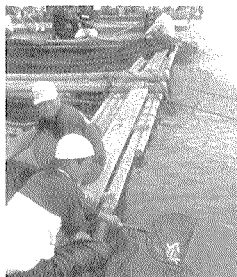
出足が遅かった東備地域の合併協議は、備前市と日生町がひと足先に法定協議設置に向けて動き出した。二〇〇五年三月のリミットを視野に入れると、枠組みが揺るぎ始めた北部三町に残された時間は少ない。



の声はいずれも過半数を占めた。備前市、日生町は組み合わせも「備前市と日生町」がともに六割を超え、八月二十二日の研究会では、法定協議設置案を九月会議に提案することも申し合わせた。

一方の北部三町。望ましい組み合わせについて和気佐伯町では「北部三町」が七割を超えたのに対し、吉永町は三割強にとどまった。逆に和気、佐伯町で二割に満たなかった「一市四町」が吉永町で過半数を占めた。「一市四町」を求める同町の声は予想以上に多く、北部三町の枠組みは一気に不透明となった。北部三町研究会会長の西崎町長は「先を急がず吉永町の立場も十分理解し、柔軟に協議したい」と話す。

漁獲量が落ち込んだサワラの資源回復を図ろうと日生町漁協は二七日、稚魚約二万七八〇〇匹を放流。昨年に続き取り組みで、一部の稚魚には焼き印を入れ、追跡調査も行う。また同漁協では秋の禁漁や網の目を大きくすることなどの対策も行っている。



▲日生町の大多府島沖で行われたサワラの稚魚の放流

よみがえれ サワラ

花火大輪夜空に咲く

第二十回ひなせみなとまつりが十三日、日生町寒河のJ.R日生駅前海岸で開かれた。初の海上綱引き大会がにぎやかに繰り広げられたほか、二千二百発余りの打ち上げ花火が港の夜空を彩り、お盆をふるさとで過ごす家族連れを魅了した。

綱引き大会は、向かい合わせで海に浮かべた紅白二枚のいかだ(縦一・八メートル、横三・六メートル)に選手が乗り、懸命にバランスを取りながら綱を引いた。小学生から一般まで二十八チーム、百四十人が出場し、熱戦を展開した。

午後八時からは赤や紫など色とりどりの花火が、約二百メートル沖の台船から打ち上げられた。「ドーン」「ザー」という音とともに鮮やかな光の輪が海と空に広がり、会場から拍手と歓声が上がった。



2004 サンパースフェスティバル

〈日生水産業祭〉

雨天決行

◆とき 6月6日(日) 午前9時30分～午後3時
式典午前9時～午前9時30分

◆ところ 日生港第1工区広場(もやい茶屋前)